

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	精神障害治療学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	夜間部3年		学期及び曜時限	前期 火 6	教室名	801
担当教員	大野 力	実務経験とその関連資格	作業療法士として水間病院(精神科)病院に勤務。 統合失調症や気分障害など精神障害の作業療法に従事。			
《授業科目における学習内容》						
GIO:回復過程に沿った精神科作業療法の評価法・治療法の基本的な考え方を習得する。 SBO:①精神障害者への作業療法について知る。 ②回復過程に沿った精神科作業療法の視点、治療・援助構造を述べられる。③精神科作業療法の評価の流れを述べられる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: 70%						
2. 小テスト: 15%						
3. レポート: 15%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
精神障害と作業療法 -新版- 精神疾患の理解と作業療法 -第2版-						
《授業外における学習方法》						
予習することが望ましい。講義は書籍を読んでいる前提で行います。 講義で学んだ技法は日々使用可能なので、意識して行うこと。						
《履修に当たっての留意点》						
精神科作業療法について、障害者への治療・援助・支持介入が繋がるように講義展開する。評価技術については、演習を実施。プロセスレコードを用いて、書き方、考察、レコードのまとめ方、統合と解釈をグループワークにて行い、一連の流れを習得し、後期授業に繋げる。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	病についての捉え方について理解する。	教科書・参考書	第1章の予習・復習 第2章の予習	
		各コマにおける授業予定	①ひとと病 健康と障害、障害の捉え方			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の歴史を言えるようになる。	教科書・参考書	第2章の復習 第3章の予習	
		各コマにおける授業予定	①精神の病と作業療法 精神障害の歴史			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業療法の目的・役割りについて言える。	教科書・参考書	第1～2章の復習 第3章の復習 第4章の予習	
		各コマにおける授業予定	②精神障害に対する作業療法の視点・小テスト			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	客観効果と主観効果について言える。	教科書・参考書	第4章の復習	
		各コマにおける授業予定	②精神障害に対する作業療法の視点、作業療法の治療・援助構造と治療機序			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業について言える。	教科書・参考書	第4章の復習 第5章の予習	
		各コマにおける授業予定	②作業療法の視点、治療・援助構造と治療機序			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の流れを言える。	教科書・参考書	第5章の復習
		各コマにおける授業予定	③作業療法の手順 ー評価計画、評価の流れ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価項目を挙げる事が出来る。	教科書・参考書	第5章の復習
		各コマにおける授業予定	③作業療法の手順 ー評価項目・目標の設定ー		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	記録を書く意味について言える。	教科書・参考書	第5章の復習
		各コマにおける授業予定	③作業療法の手順 ー面接・観察・記録ー		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	面接・観察の手技を言える。	教科書・参考書	第5章の復習
		各コマにおける授業予定	③作業療法の手順 ー観察、面接の実践ー		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードの書式を言える。	教科書・参考書	第5章の復習
		各コマにおける授業予定	④作業療法評価の実践 ー観察記録作成ー		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードを記載できる。	教科書・参考書	第5章の復習
		各コマにおける授業予定	④作業療法評価の実践 ー観察記録より考察をするー		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象者の言動より考察を浮かべられる。	教科書・参考書	第5章の復習
		各コマにおける授業予定	④作業療法評価の実践 ー観察記録より考察をするー		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	統合と解釈が出来る。	教科書・参考書	第5章の復習
		各コマにおける授業予定	④作業療法評価の実践 ー報告書作成(統合と解釈まで)ー		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	統合と解釈が出来る。	教科書・参考書	第5章の復習
		各コマにおける授業予定	④作業療法評価の実践 ー報告書作成(統合と解釈まで)ー		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業療法の治療・支援・手順について言える。	教科書・参考書	第3～5章の復習
		各コマにおける授業予定	グループワーク発表 ②③④総合復習		